

記載例

式第 9 号

原則として、「現認書」によります。

「報告受理書」の場合は、役職によらず最初に報告を受けた方が作成してください。

認定請求書と同じ内容を記載してください。

災 害 発 生

(現 認
報告受理) 書

該当する方を○で囲んでください。

被災職員

所 属

〇〇市立△△小学校

氏 名

基金 兵庫

災害発生日時

令和 4 年 11 月 1 日 (火) 午前 10 時 00 分ごろ

災害発生場所

△△小学校校庭

報告受理日時
(報告受理書の場合)

令和 4 年 11 月 1 日 (火) 午前 10 時 00 分ごろ

災害を現認した
状況又はその報
告を最初に受け
た状況

私が

①誰が

上記日時・場所で

②いつ・どこで

被災職員の基金兵庫さんと一緒に掃き掃除をして集めた落ち葉を運んでいると

③何をしていると

被災職員の基金兵庫さんがグレーチングの上の落ち葉で右足を滑らせて転倒し、

④誰がどうして

右足を捻ったのを見ました。

⑤どうなったか

△△病院へ連れて行きました。

⑥どうしたか

※ 報告受理書の場合、報告内容について、上記①～⑥に沿って詳細に記載した上で、「口頭（電話）で報告を受けました。」で締めくくります。

上記のとおり

現認いたし

報告を受け

ました。

該当する方を○で囲んでください。

令和 4 年 11 月 7 日

地方公務員災害補償基金兵庫県支部長 様

該当する方を○で囲んでください。

現 認 者

報告受理者

所属 〇〇市立△△小学校

職名 用務員

氏名 〇〇 〇

所属長である必要はなく、現実には災害を見るか最初に報告を受けた方が作成してください。

(注) 1 現認書は、現認者が自分がどのような状況で現認したかを災害発生の状況にあわせて記載すること。

2 報告受理書は、当該所属で最初に報告を受けた者が記載すること。